



くみあいたより

JAなんぼろ



JAなんぼろホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

田植え体験で南幌町農業を学ぶ

当JAでは、南幌小学校5年生を対象に、食の大切さや環境保全型農業の理解をより深めて貰うことを目的に、田植えから稲刈りまでの体験をする学習田活動を行っています。この活動は、小学生への食育活動の一環として毎年行っており、児童達は、1年間の活動を通して日常生活で食卓に並ぶお米が出来るまでの一連の流れを学ぶことが出来ます。



5月19日（月）に、南幌小学校で事前学習を行いました。空知農業改良普及センター空知南西部支所の大山専門普及指導員を講師として授業が行われ、「田植えまでの苗の育苗方法や、ほ場の準備について」と「田植え時の注意点について」の2点について学びました。

5月21日（水）には、織田章氏（鶴城）の水稻ほ場をお借りし、田植え学習を開催しました。



58名の児童達は、初めての田植え体験で、最初は恐る恐る田んぼに入っていました。徐々に慣れた様子で、元氣よく苗を植え、あっという間にほ場全面の田植えが終わりました。

苗を植えた後、児童達には虫よけ効果のあるアップルミントを畔に植え付けてもらい、クリーン農業にも取り組みました。

児童達は、「最初は裸足で田んぼの中に入るのが怖かったけど、入ってみると楽しくてあっという間に終わった」と話していました。



ピーマン目慣らし会開催

6月16日(月)、野菜等集出荷センターでピーマンの出荷目慣らし会が開催されました。

目慣らし会では、札幌みらい中央青果株式会社の担当者やピーマン部会の部会員が参加し、出荷規格や出荷要領の確認を、実際にピーマンを各規格に選別しながら目慣らしを行っていました。

目慣らし会終了後には、垂水隆志氏(晩翠西)のピーマンハウスにて青空教室が開催されました。部会員らは、栽培方法などを確認しながら栽培技術の向上について意見交換を行っていました。



上川大雪酒造が南幌町を訪問

南幌町で生産されている酒造好適米「彗星」、「きたしずく」を使用した日本酒を醸造している「上川大雪酒造株式会社」の川端慎治副社長(総杜氏)と小岩隆一取締役(緑丘蔵統括・杜氏)が、田植えを終えた6月2日(月)に南幌町を訪れ、酒造好適米の作付けほ場を視察し、生産者と懇談しました。

両杜氏とも南幌町の酒造好適米について品質が良いと高く評価されており、本年産についても期待していることを各生産者に伝えられましく、より一層の品質向上に向け気持ちを新たにしていました。



一人一人にあった共済を

6月3日(火)、共済・金融窓口前で、共済一斉推進の進捗式を開催しました。

式では、林組合長より一斉推進にあたり、これまでの共済の実績を振り返りながら激励の言葉が述べられました。

犬養共済係の「新たなニーズの発見をしながらよりよい共済を推進していきましょう」という意気込みの言葉で一斉推進がスタートし、役職員一同、気合の入った表情がうかがえました。

J・Aなんぼろでは、これからも組合員の皆様によりよい共済を勧められるよう励んでまいります。



経営所得安定対策等の手続きを実施

5月26日(月)から5月30日(金)の1週間、JA2階中会議室で経営所得安定対策等の申請手續および畑作物産地形成促進事業、コメ新市場開拓等促進事業に係る要件確認を行いました。

本年も農繁期の受付でしたが、期間中にたくさんの方々が訪れ、南幌町農業再生協議会事務局である、営農部農業振興課と南幌町産業振興課農政係の職員が受付を行いました。



入場無料

中央農業試験場 公開デー

8/7 木

午前10時00分～午後2時

場所:道総研 中央農業試験場(長沼町東6線北15号)

内容:体験・展示コーナー、相談・診断コーナー(作物、土壌、病害虫)、バスで園地見学、試食など

参加費:無料(予約不要。当日、正面玄関にて受付)

会場・問い合わせ:道総研 中央農業試験場 TEL 0123-89-2586

年金相談会の開催について



開催日時:令和7年7月9日(水)

午前10時00分～午後4時00分

開催場所:JAなんぽろ 二階会議室



※社会保険労務士の先生とwebによるオンライン面談方式で行います。年金に関する疑問を解決する良い機会ですので、是非ご来場下さい。オンライン面談のため事前に時間の予約をお願い致します。
※ご相談の際には、年金定期便又は年金請求書(日本年金機構から送付された書類)・年金証書・年金手帳・雇用保険被保険者証・認め印・配偶者の方の年金証書・年金手帳等をご持参下さい。

JAバンクなんぽろ 電話:378-1891

長船技師による営農情報！

野菜の石灰欠乏症(チップバーン)について



カルシウムを好む作物では、石灰施用量の増加は収量向上につながります。野菜はカルシウムを好む作物で、特にアブラナ科野菜は要求量が高く石灰欠乏症発生事例も多く見られます。今月は野菜の欠乏症(チップバーン)の原因と対策について説明したいと思います。

1 発生原因

①土壌中にカルシウムが不足している場合

②塩基バランスの崩れ等によるカルシウム吸収阻害

- ・作物のカルシウム吸収は、特に高温時に土壌が乾燥したり、土壌塩類濃度が高かったり、アンモニア態窒素や、カリウム、マグネシウムが多量に多いと抑制されやすい。
- ・トマトでは、硝酸態窒素に比べアンモニア態窒素の割合が多くなるほどカルシウム吸収が阻害されトマトの尻腐れ果の発生が多くなります。

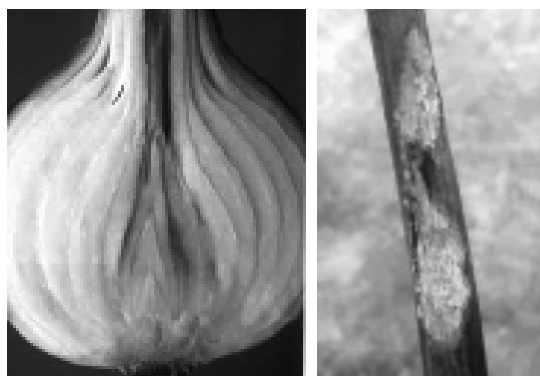
2 生育障害の症状



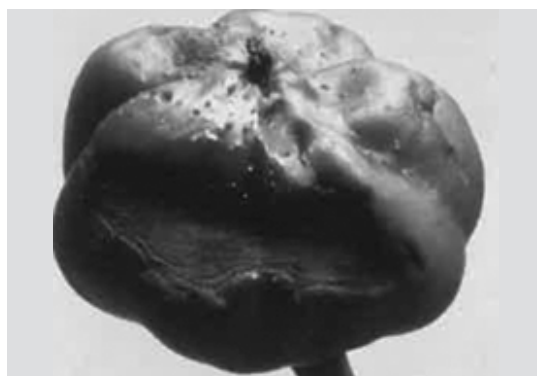
キャベツ カルシウム欠乏症
葉の縁が枯れてくる。



ブロッコリー カルシウム欠乏症
葉に淡緑～褐色の斑点、葉脈間が黄化する。



タマネギ カルシウム欠乏症
球の中央部が芯腐れになる(左)。葉の中位に幅の広い不整形の白色の枯死斑点が生じる(右)。



ピーマン 尻腐れ果
果実の尻が腐れてくる。

3 対策

- ・酸性土壌なら、石灰資材を施用して酸性土壌の改良をはかるとともにカルシウム含量を高めます。
- ・土壌を乾燥させないように注意します。
- ・土壌中の石灰、苦土、加里の塩基バランスを適正に保つことも重要です。
- ・応急的対策として石灰質資材500～1000倍液の葉面散布を5～7日間隔で行います。

※散布例～液体ハイクアルック(成分 有機酸カルシウム10.5%、ホウ素1%)

参考資料：要素障害診断事典

知って得する農業者年金

農業者の方は、
国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」
に加入して安心して豊かな老後を！

終身年金で
安心！



ポイント1 農業者なら誰でも入れる「終身年金」

ポイント2 一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助

ポイント3 税制面で大きな優遇措置

詳しくは… **農業者年金**

検索

<https://www.nounen.go.jp>



ポイント1

農業者なら誰でも入れる「終身年金」

●農業者年金の加入資格は3つだけ、農地の権利名義は不要

- ①年間60日以上農業に従事 ②65歳未満
- ③国民年金第1号被保険者（保険料納付免除者を除く）（ただし、60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者）

●保険料の設定は自由、加入・脱退も自由

保険料は月額2万円（35歳未満で政策支援加入の対象とならない方は1万円）から6万7千円の間で、千円単位で自由に決められいつでも見直しが可能です。さらに加入・脱退も任意のため、経営状況等に応じ柔軟な対応が可能です。（ただし、脱退一時金はなく、積立てた保険料は将来年金として受給できます）

●「終身」で年金を受給でき、万が一の場合は死亡一時金も

農業者年金は「終身年金」のため、一生涯、年金を受け取ることができます。

また、万が一、80歳前に死亡した場合は、80歳までに受け取る農業者老齢年金の現在価値相当額を死亡一時金として、要件を満たす遺族の方が受け取れます。（死亡一時金は非課税。加入期間等により、保険料払込額を下回る場合があります。）

試算表 ～農業者年金の受給額の試算～

加入年齢	納付期間	保険料額	保険料総額	年金額（年額）		想定される受給総額	
				男性	女性	男性	女性
20歳	40年	1万円	780万円	63万円	55万円	1,362万円	1,491万円
		2万円	960万円	83万円	73万円	1,791万円	1,961万円
30歳	30年	1万円	660万円	49万円	43万円	1,061万円	1,161万円
		2万円	720万円	55万円	48万円	1,189万円	1,301万円
40歳	20年	2万円	480万円	33万円	29万円	704万円	771万円
50歳	10年	2万円	240万円	15万円	13万円	314万円	343万円

※上のケースは、通常加入で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が1.35%となった場合の試算です。受給総額は65歳の時点で想定される平均余命を考慮し、男性86.5歳、女性92歳まで生存した場合の金額です。

※運用利回りは、加入後の経済情勢により上下します。制度発足以降の22年間（令和5年度まで）の運用利回りの平均は、年率3.05%です。

※各金額は、単位未満を四捨五入により表示しています。

※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、令和7年度は1.35%となっています。

※保険料額1万円のケースについては、35歳未満は保険料月額1万円で加入し、35歳以降は2万円で加入した場合です。

詳しい年金額
シミュレーションは
こちら →



ポイント2

一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助

- 認定農業者かつ青色申告の方など、一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助があります。（月額2万円のうち最大1万円、通算で最大216万円）
- 保険料の国庫補助分は、将来、経営継承をする等の一定の要件を満たせば、将来、特例付加年金として受給することができます。

ポイント3

税制面で大きな優遇措置

●保険料は全額社会保険料控除

支払った保険料は全額社会保険料控除の対象となります。さらに、同一生計の家族分の保険料を支払っている場合、家族分も含めて控除の対象となります。

●保険料の運用益が非課税

一般の預貯金等の利子には約20%の税金がかかりますが、農業者年金の運用益は非課税です。

●将来年金として受け取る際も控除の対象

農業者年金として受け取った年金は、税制上、公的年金等控除の対象となります。

事務経費は国が負担しているため、払った保険料の全額が運用されます。

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人 農業者年金基金

●専門相談員

TEL: 03-5919-0371

●企画調整室

TEL: 03-5919-0332

農業者年金と国民年金基金（旧みどり年金を含む）及び個人型確定拠出年金（イデコ）とは重複加入できませんのでご注意ください。

2025.5

理事会報告

6月11日

6月定例理事会で審議された主な内容について、
次のとおり報告申し上げます。

【議案】

1. 南幌町穀類乾燥調製貯蔵施設自主検定委員の選任について
2. 役員賠償責任保険契約の締結について

【報告事項】

1. 第4回営農振興組合長会議の開催について
2. 農産物の生育状況について
3. 普及センター空知南西部支所の業務担当について
4. 令和7年肥（令和8年用）肥料推進と価格動向について
5. 農業用廃農ボリ・廃農ビニールの回収処理について
6. 令和7年度南幌町穀類乾燥調製貯蔵施設小麦操業計画について
7. 5月末農産物の保管状況について
8. 令和7年度JA総合利用運動について
9. 5月期JAローンの貸付について
10. 内部監査の実施報告について
11. JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
12. 非常勤役員への月間予定及び理事会等開催通知の案内方法変更について
13. 令和7年度5月末組合員の異動状況について
14. 第1四半期における固定資産の取得、処分について
15. リスク情報について
16. 夏期手当の支給について
17. 職場健康管理研修会および役員親睦会の開催について
18. 5月末財務状況について

JAなんぼろ夜まつり

開催のお知らせ

8月2日（土）午後3時～

日時
場所
催し物
出店

エコープなんぼろ店駐車場
ものまね・歌謡ショー・ビンゴゲームなど
ヨーヨー釣り・焼き鳥・焼きそばなど

問い合わせ先 総務部総務課（011-378-2221）

私達のJA

令和7年5月末日現在

組合員	2,601名
（前年同期比）	▲28名
正組合員	407名
（前年同期比）	▲12名
准組合員	2,194名
（前年同期比）	▲16名
正組合員戸数	257戸
（前年同期比）	▲6戸

編集後記

皆さんはNintendo Switch 2をご存じでしょうか。任天堂株式会社から発売された最新のゲーム機なのですが、現在4回の抽選販売が行われております。上地はこの抽選にずっと応募しているのですが、すべて落選しています。これが厄年の力なのでしょうか。

くみあいだより担当の上地も、先月号の記事にあった農業研修に参加していました。

